

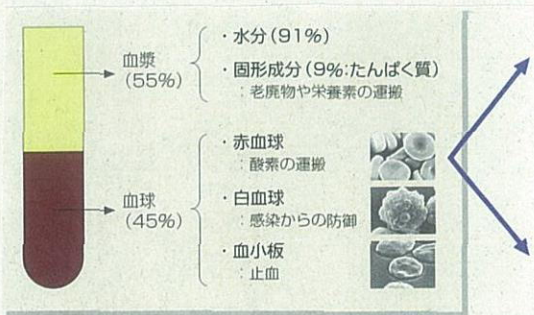
「血漿分画製剤」(けっしょうぶんかくせいざい)とは？

- ヒトの血液の成分である血漿中に含まれる「血液凝固因子」、「アルブミン」、「免疫グロブリン」などのタンパク質を抽出・精製したもの。(コーン分画法によりタンパク質を順に抽出する:連産品)。
- 製品は安定性が高く、有効期間が長い(国家検定合格の日から2年間)のが特徴。
- 数万人分の血漿をまとめて製造するため、万一ウイルスなどが混入した場合、多数の患者が感染する危険がある(「薬害エイズ」や「薬害C型肝炎」は、当時の血液凝固因子製剤にウイルスが混入していたことにより、不幸にも多くの患者が感染したものである)。
- 最先端のウイルスの除去・不活化処理を行った結果、現在では安全性が飛躍的に高まっている。

【血漿分画製剤の例】

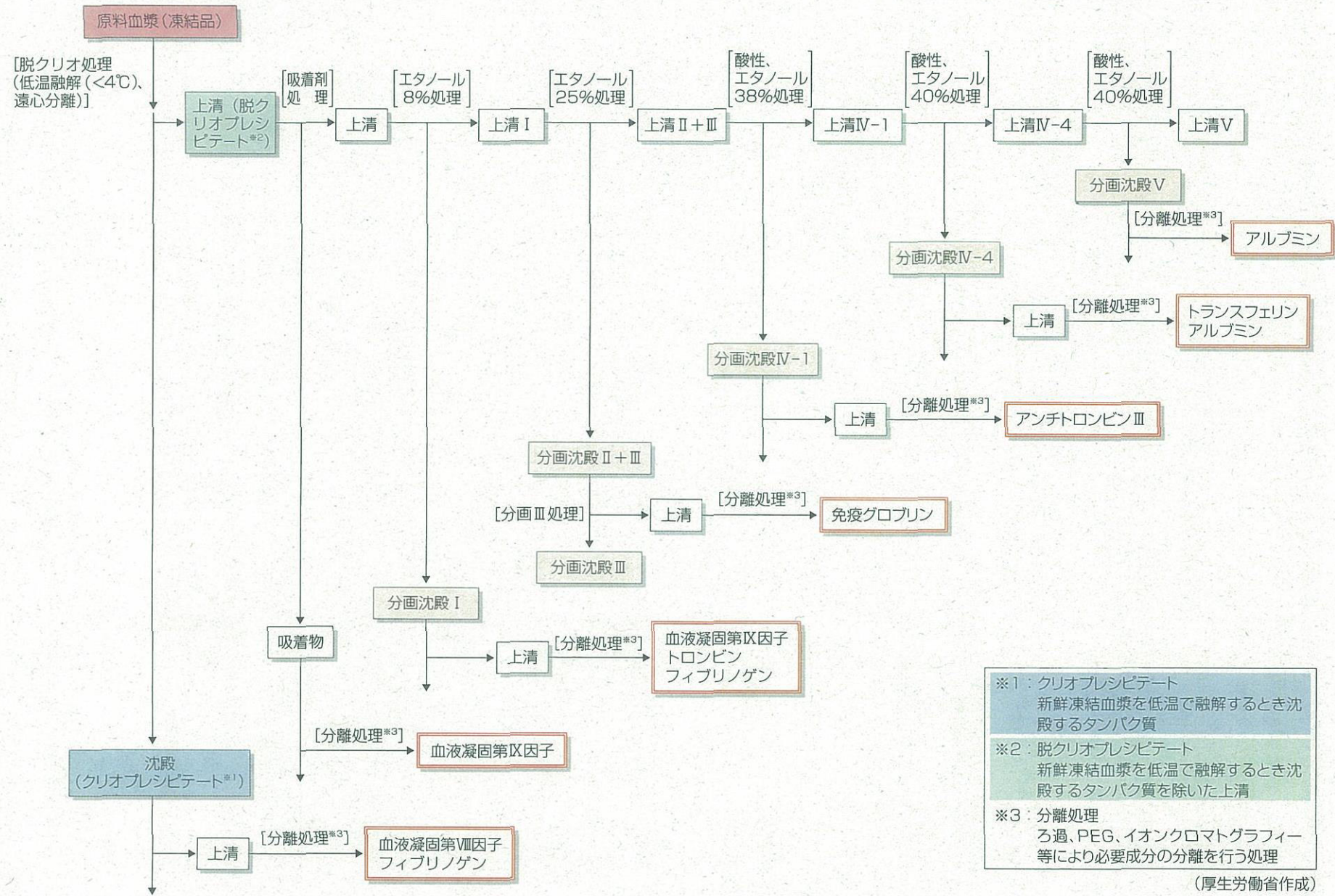
血液凝固第Ⅷ因子製剤		血友病Aの患者さんには血液中の血液凝固第Ⅷ因子が不足しているため、関節出血など多くの出血症状が繰り返されます。この場合、血液凝固因子を補充する必要があります。血液凝固第Ⅷ因子製剤は、血友病Aの患者さんにとって大変重要な製剤です。 ●貯法 30℃以下 禁・凍結 ●有効期間 2年間
アルブミン製剤		事故などで大けがをして、大量の出血がありショック状態に陥ったときや、熱傷(やけど)、肝臓病、腎臓病などの治療に使われます。 ●貯法 室温 禁・凍結 ●有効期間 2年間
免疫グロブリン製剤		人の血漿中の抗体(免疫グロブリン)を分離精製した製剤です。色々な病原体に対する抗体が含まれているので、抗生物質などがなかなか効かない感染症の患者さんに使用されます。また、免疫グロブリンが不足している場合、特発性血小板減少性紫斑病(ITP)、川崎病にも使用されます。 ●貯法 10℃以下 禁・凍結 ●有効期間 2年間
特殊免疫グロブリン製剤		B型肝炎ウイルスと特異的に反応する免疫グロブリン(抗体)を分離精製した製剤です。B型肝炎ウイルスを含む血液による針刺し事故後の発症防止や、B型肝炎撲滅のための母子間感染の予防のために使用されます。 ●貯法 10℃以下 禁・凍結 ●有効期間 2年間

血液の成分



(参考)輸血用血液製剤

赤血球製剤		●保存温度 2~6℃ ●有効期間 採血後21日間	出血および赤血球が不足する状態、またはその機能低下による酸素欠乏のある場合に使用されます。
血漿製剤		●保存温度 -20℃以下 ●有効期間 採血後1年間	複数の血液凝固因子の欠乏による出血ないし出血傾向のある場合に使用されます。
血小板製剤		●保存温度 20~24℃ ●有効期間 採血後4日間 ●要振とう	血小板数の減少またはその機能低下による出血ないし出血傾向のある場合に使用されます。
全血製剤		●保存温度 2~8℃ ●有効期間 採血後21日間	大量出血などすべての成分が不足する状態で、赤血球と血漿の同時補給を要する場合に使用されます。



コーン分画法の一例